一生の思い出を
鉄道の旅から

北海道旅客鉄道株式会社
取締役社長　大森義弘

謹んで新年のごあいさつを申しあげます。

修学旅行関係の皆様には平素から格別の御支援を賜り、厚く御礼申しあげます。

JR北海道では、来る三月一日にダイヤ改正を実施し、札幌～函館間の充実を図ります。

同区間に振子式特急気動車を導入して、最速達列車（スーパー北斗）の場合、二時間五十九分で結び、平均しますと約三十分の時間短縮になります。併せて現行八往復を十一往復（五往復は振子式）として大幅に輸送力を増強、修学旅行においても、より便利に、利用しやすくなるよう計画を進めています。

修学旅行は、教育課程の重要な行事であり、実地研修などその持つ意義は大きいものと存じます。JR北海道は、これからも一生の思い出に残る旅行手段として、お役に立つよう努めてまいりますので、一層の御愛顧を賜りますようお願い申しあげます。

終わりに臨み、関係の皆様方のますますの御健勝と御多幸をお祈り申しあげて、年頭のごあいさつといたします。

21世紀を担う
子供たちへ

東日本旅客鉄道株式会社
取締役社長　松田昌士

謹んで新年のごあいさつを申しあげます。

修学旅行関係の皆様方には、日ごろからJR東日本を御支援、御愛顧賜りまして厚くお礼申しあげます。

お陰さまをもちまして、当社は昨年十月に株式上場が実現いたしました。上場企業として新たな年を迎えますが、取り巻く経営環境はバブル経済崩壊等によって厳しい状況が続いており、今年こそ民間企業としての本当の実力を問われる年と認識しております。

私共は、今一度、JRの原点を噛みしめて「まごころを込めたサービスの提供」・「信頼性の高い鉄道づくり」に向け、全力を挙げる決意でございます。

これから二十一世紀を担う子供たちの、一生の思い出となる修学旅行につきましても、安全で安定した輸送でお役にたてるよう、社員一同、心を込めてお手伝いさせていただく所存でございます。

最後に、関係の皆様方のますますの御健勝と御多幸をお祈り申しあげて、年頭のごあいさつとさせていただきます。

歴史文化の再発見を

東海旅客鉄道株式会社
取締役社長　須田寛

新年おめでとうございます。修学旅行関係の皆様には大変お世話になり、御礼申しあげます。

昨年三月のダイヤ改正から、ひかり号についても、より多くのお席を修学旅行の皆様に御利用いただけるようになりました。今後もさらに改善に努めてまいります。

さて、当社では昨年後半より、東西交流キャンペーンを実施しております。これは、日本史を彩った京都・奈良・東京などの諸都市を文化、歴史的に見つめ直し、古今の魅力の再発見をねらいとしており、その趣旨は修学旅行の目的とも軌を一にするものと思います。

今年は平安建都千二百年の記念すべき年でもあり、皆様に思い出深い御旅行をお届けできるよう、地元の皆様方、社員共々力を合わせて臨む所存でございますので、一層の御利用をお願い申しあげます。

最後に、関係の皆様のますますの御健勝を祈り、年頭のごあいさつといたします。

夢と感動の体験

西日本旅客鉄道株式会社
取締役社長　井手正敬

謹んで新年のごあいさつを申しあげます。

修学旅行関係各位には、平素から格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

修学旅行につきましては快適で安全な鉄道・バス等の輸送を提供してまいることが、今後とも当社の重要な責務と考えております。

更に国内はもとより海外修学旅行につきましても、体験・見学等の企画からお宿等の手配、旅行時の御案内等旅行全般にわたり、最寄りの営業支店・TiSがお手伝いをさせていただいております。

本年も、夢をはぐくみ、感動を呼ぶ体験を通じて、一生の思い出に残る修学旅行をお世話させていただけるよう努力する所存でございますので、一層の御愛顧を賜りますようお願い申しあげます。

最後に、関係の皆様の御健勝と御多幸を祈念しまして、年頭のごあいさつといたします。

本州・四国を結び
安全で正確な運転を

四国旅客鉄道株式会社
取締役社長　伊東弘敦

明けましておめでとうございます。

瀬戸大橋を渡って大勢の修学旅行の皆様が本州から四国へ、また、四国から本州へ研修の足を伸ばされ、JR四国の列車・バスを御利用いただいて厚く御礼申しあげます。

昨年三月岡山、高松から松山までの全線電化が完成し、予讃線に四国初の特急電車が走り始めて本州と四国の連絡は一層便利になりました。また、四国の主要駅や東京、大阪などにもワーププラザの愛称で当社の旅行代理店のネットワークが出来上がり、国内外の修学旅行の御用命をお待ちしております。

瀬戸内海の自然美、国宝寺社建築や歌舞伎の金丸座など多くの四国の文物に触れて心の糧となるような旅を念じ、安全で正確な列車の運転に社員一同今年も努めてまいります。思い出に残る修学旅行を願って新年のごあいさつとします。

特急ネットワークの充実で
快適な修学旅行を

九州旅客鉄道株式会社
取締役社長　石井幸孝

謹んで新年のごあいさつを申しあげます。

修学旅行関係の皆様におかれましては、平素よりJR九州を御支援、御愛顧いただき、厚く御礼申しあげます。

昨年は、九州におきましては、度重なる豪雨、台風に見舞われ、当社の被害額も想像を絶するものとなりましたが、この危機を社員の総力を挙げて乗り切っていきたいと考えております。

また、明るい話題として、四月に「福岡ドーム」、七月宮崎に「シーガイア」がオープンし、当社では、これに合わせて新型車両による特急「にちりんシーガイア」号の運転を開始、特急ネットワークの充実を図ってまいりました。

更に、本年三月のダイヤ改正からは、特急「かもめ」号の五往復を新型車両に置き換えるとともに、特急「ハウステンボス」号もカラフルで楽しい車両に順次リニューアルするなど、今後ともお客様に満足していただける安全で快適な輸送サービスを提供してまいる所存です。

本年も、どうぞより一層の御愛顧をお願い申しあげます。

1月24日から
郵便料金改定

郵政省は、一月二十四日から郵便料金を改定する。主な内容は次のとおり。

▽第一種（封書）
定形25gまで62円→80円
25g超50gまで 72円→90円
定形外50gまで120円→130円
50g超100gまで 175円→190円
100g超250gまで 250円→270円
250g超500gまで 360円→390円
500g超1kgまで 670円→700円

▽第二種（はがき）
通常 41円→50円
往復 82円→100円

▽第三種（定期刊行物等）
一般50gまで41円→50円
→4月1日以降60円
50g超50gごと 5円増→7円増
4月1日以降8円増

▽特殊取扱（通常郵便物）
一般書留 360円→420円
簡易書留 250円→350円
速達 210円→270円

名古屋事務所が移転

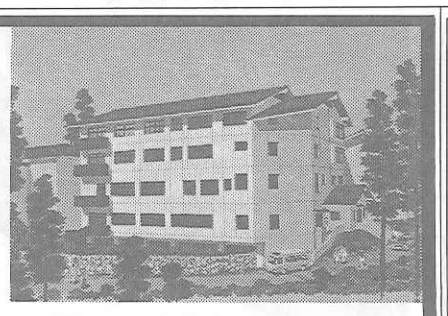
㈶全国修学旅行研究協会

名古屋事務所は、一月十五日に左記へ移転し、十七日から新事務所で業務を行う。

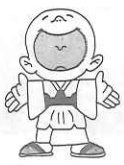
新所在地＝〒450名古屋市中村区名駅二丁目45番19号
桑山ビル七階
（名古屋中央郵便局向）
☎052・561・7876
FAX052・561・4489

㈶全国修学旅行研究協会は、第35回評議員会を、三月十六日㈬東京のグランドヒル市ヶ谷で開催する。

座禅体験で
〝心、リフレッシュ!!〟
清潔、安全、快適、
安心のお宿

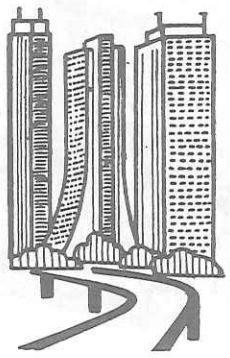


本館	17室	194帖	120人
比叡	28室	260帖	200人
北嶺	15室	160帖	130人
計	60室	614帖	450人



〈国際観光旅館〉
比叡山　延暦寺会館
TEL　0775－78－0047・0554
TELEX　5464－917
FAX　0775－79－5053

首都東京を見て、何かを！



東京ドームもすぐ近く
お泊りは　都心の
経験豊かな
本郷の旅館へ
本郷旅館協同組合
〒113 東京都文京区本郷4－36－3 TEL 03－3813－9381

豪壮華麗な武家屋敷を再現

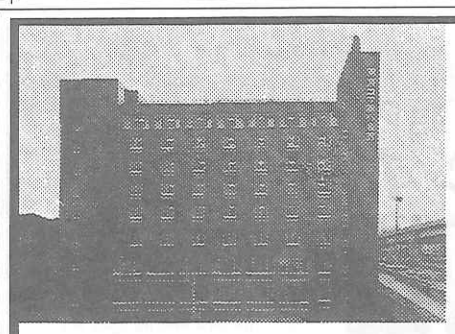
北海道の広大な敷地に、戦国末期から江戸時代を再現した「登別伊達時代村」は、全体が巨大な劇場。楽しみながら生きた歴史が体験学習できる様に、演出されています。

■伊達正宗

■片倉小十郎邸

—学生団体料金—
中学生・高校生：1,260円
小学生　：　940円

登別伊達時代村　〒059-04 北海道登別市中登別町53-1
☎0143-83-3311（代表）



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL（03）3585—1046（代表）

東京　コマ旅行会館

第10回全国修学旅行研究大会 研究発表要旨 (平成5年11月26日・名古屋)

自主的に活動できる生徒を目指して

―東京班別自主行動ができるまで―

愛知県一宮市立南部中学校
教諭 長谷川 濃里

本校が修学旅行で班別自主行動を実施するようになって今年で五年目になる。今回の発表では、本校の今までの取組みをまとめた内容を中心に、本年度改善した点を交えて紹介した。そしてその主な内容は、修学旅行を実施するまでにどのような積重ねをしてきたかである。以下にその概略を紹介したい。

まず、修学旅行において「自主的に行動できる」ということを具体化し、そのための手だてを考えた。そしてその指導の手順として、①教師指導、②体験、③反省、④自主的な計画・実践、のステップを踏むこととし、一年からの各行事に手だてを織り込み実施した。

一年生の春の遠足では班行動の経験、本校のルール指導に重点を置いた。秋の遠足では、見学レポート作成、準備のための実行委員会を経験することをねらいとした。

二年生では、キャンプにおいて本格的な実行委員会を結成し、生徒を企画から参加させた。そして、秋の遠足、名古屋班別自主行動で、東京班別自主行動のミニ版を実施した。名古屋班別自主行動では、生活委員会で「ルール作り」「困った時のどうするんだ集作り」、しおり委員会で「しおり作り」、レポート委員会で「レポートの見本作り」「レポート発表会」、コース委員会で「行程表、予算書作り」などに取り組んだ。これらはすべて修学旅行を目指したものであり、また同時に、一年から取り組んできたことの復習、発展の場である。このような数々の段階を経て、いよいよ二年三学期から修学旅行の準備にとりかかった。

修学旅行の概要を決めた後、二年時に準備できることとして、①修学旅行のねらいと概要の学習。②「日光」「東京」の学習。③パソコンで移動時間、費用を検索。④仮班でのモデルコース作成。⑤準備委員会で資料作りやPR実施。の五つを決め、取り組んだ。

そして、三年になるとすぐ、実行委員会を組織し、準備を始めた。これまでの経験をもとに、実行委員はそれぞれの委員会で様々な工夫を凝らし、よりよい修学旅行になるよう努力した。また、学級の各班においても、ガイドブックと実行委員会から出た資料を手に、①見学目的の決定、②目的地の決定、③行程表作り、④予算書作りと手際よく計画を練ることができた。生徒が選んできた目的地は五十箇所にも及び、興味、関心の多様さをうかがわせる。皇太子殿下御結婚の儀直前の警戒体制の中、生徒はそれぞれの目的地の見学を無事終え、立派な見学レポートを作成した。

これまでの修学旅行に向けての取組みで、生徒は自分たちで計画し実行することに喜びを感じるようになってきたようである。三年秋の遠足では、自ら実行委員会を結成し、学年レクリエーションを企画、実施した。今後も、このような力が、このような行事だけでなく、学校生活、家庭生活のいろいろな場で生かされるような指導の在り方を考えていきたい。

第10回全国修学旅行研究大会 研究発表要旨 (平成5年11月26日・名古屋)

買物ツアーからの脱却を

―生徒の欠損体験を補う校外学習―

岐阜県関市立緑ヶ丘中学校
校長 松田 孝弘

本校のこれまでの修学旅行で反省すべき点は、活動が見直されてはきたものの物見遊山的であること、諸経費がかなり掛かること、小遣いなど決められたルールがきちんと守れないこと、一・二年に宿泊体験活動がないことなどである。買物ツアー的な修学旅行であったともいえる。修学旅行本来の学習としてのねらいを大切にするために、見直しの必要を痛感した。

平成四年度に本校では、学校行事の精選に焦点を当て、膨れ上がり、マンネリ化傾向にある行事を見直し、合わせて授業時数の確かめをした。その中で、より良い修学旅行の在り方についても検討したのである。結果として、学校行事は、一学期に校外学習、二学期に体育祭、三学期に文化祭の三大行事のみとした。三大行事は、それぞれが点として存在するのではなく、継続する学校教育活動と考えた。なお、一・二年生の集団宿泊体験活動を新設し、三年生の修学旅行と併せて校外学習と呼ぶことにした。旅行的・体験的行事を包含する学校行事の一つとして三年間を踏まえることが効果的であると考えたからである。この結果学校行事そのものの持つ意味や、位置付けが明確になり、校外学習に対する考え方も整理され、今後の計画が立てやすくなった。

校外学習のねらいは、中学校指導書特活編に述べられているとおりであるが、特に本校では生徒の欠損体験を大切にしようと考えた。社会の変化が著しい今日、生徒たちの生活体験も大きく変化してきている。TVゲーム等に代表されるように機械を相手に遊ぶことや一人で行動することが多く、友達とのかかわり、自然との触合い、さまざまな仕事にかかわる経験など、幅広い体験やそれを通して学ぶ人と人の触合い、社会のルール等、その良さを知らない生徒があまりにも多いといえる。中学生のこの時期に、学校の外に教育の場を求めて集団宿泊体験活動を通して欠損体験の一部を補ってやることは大切であると考えたのである。

本年度は、すべてが新しい試みであり大変であった。各学年とも生徒の欠損体験を意識し、生徒が主体的に活動できる内容を考えて検討を重ねた結果、活動内容は自然との触合いや耐性の教化が中心となった。一年生はゴミを拾いながらの十六キロメートル歩行、二年生は千七百メートルの大日岳登山、三年生は海辺の生活と東京ドームのソフトボール大会及び都内班別行動が主な活動内容であった。五月下旬の実施であるが、各学年とも学年・学級作りの基礎となる活動とするため、四月から計画的に取り組んだ。二・三年生については前学年の三学期から活動の準備にかかった。

結果は、新しい試みが生徒、教師、保護者に大好評であった。

今後は更に、感動体験・耐性体験・奉仕体験・思いやり体験など、人間として生きていく上で大切な体験を三年間を見通し、意図的計画的に、系統性を持たせて組み入れたいと考えている。

クオリティミニガイド

《寺院建築》(1)

お寺の建物は、六世紀の後半に大陸から仏教の伝来とともに入ってきた建築様式であり、時代による移り変わりが大きい。

飛鳥時代

このころの様式は、飛鳥寺、法隆寺、四天王寺などに取り入れられたとされるが、現在にその様式を伝えるのは法隆寺だけである。その特徴は基壇を高くして礎石を置き柱(円柱)を立て、床は土間、瓦葺きの反りのある屋根で木部には彩色が施された。

奈良時代

仏教建築の黄金時代といわれる。中国唐の様式が入って、柱のエンタシスがなくなって円筒状になり、斗組や肘木がなくなって、軒垂木を二重にするなど、仏教建築の基本様式が出来上った。

平安時代

天台・真言の密教が伝来し、その教義にのっとって寺院は山上に造られ、層塔に替わって多宝塔が作られ、礼拝のための建物礼堂が建てられる。後世この礼堂と金堂が一つになって、内陣外陣を構成することになる。このころから日本住宅の様式(桧皮葺や蔀戸など)が加えられ和様が成立する。

鎌倉時代

中国宋の様式が伝えられ、東大寺の再建に取り入れられた。天竺様又は大仏様といわれる様式で、細かな部材を組み上げていく方式が採られた。この様式は余り普及せず、現存では東大寺南大門(仁王門)が数少ない遺構の一つである。

更に、禅宗の伝来によって唐様(禅宗様)と呼ばれる様式が伝えられ、細かな木割や細部にわたる装飾が施されて、整然たる構成による美しい建物が建てられるようになっていく。

そして天竺様・唐様の影響がこれ以後の様式に顕著に現れるようになる。

東京新風景　水鳥の群れ、正午の時の鐘、白い五重塔型のホテルは今夏開業予定(上野不忍池)

ものしり社会科トラベル
わくわく工場見学
ツーリスト情報版 27
見て、学んで、体験できる工場を
地域別に徹底ガイド
北は北海道から南は九州・沖縄まで
酒造・食料品・伝統工芸・発電
乳製品・自動車・研究所・電機etc…
東京エリア
特選ショールーム
25を紹介
サイズ●AB判
中とじ●128頁
定価●650円(本体631円)
近畿日本ツーリスト出版事業部
〒101 東京都千代田区神田松永町19-2
TEL 03-3257-0779(営業直通) FAX.03-3258-3216

御校だけのオリジナルプラン
―大型外航客船・新さくら丸を使っての修学旅行―
●すでに、私立高校、公立高校を問わず、修学旅行のご用命をいただいております。
お問合わせ先(資料請求先)　商船三井客船株式会社
本社　東京都港区虎ノ門2-1-1　TEL 03-3224-7961
大阪営業所　大阪市北区中之島3-6-32 TEL 06-449-4701

―修学旅行の楽しいお食事―
箱根彫刻の森美術館内
レストランコンポート
◇500名様迄、ご利用いただけます。
◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。
〒250-04
神奈川県足柄下郡箱根町
二の平1121
☎0460(2)2221 (予約センター)

とっておきの思い出に。
学んで、遊んで、楽しめる。注目のアミューズメント・リゾート、鈴鹿サーキット。広大な敷地のなかには多機能型の宿泊施設、各種スポーツ施設、最新設備の整った研修センターや交通教育センターなど、多彩な施設を揃えています。趣向を凝らした修学旅行など、目的・用途・人数などに合わせて、幅広くご利用ください。
体験学習のご案内
●エンジン教室●本田技研鈴鹿製作所工場見学●モータースポーツ観戦●二輪交通安全教室●レーシングコースバス走行●ホンダコレクションホール見学●テーブルマナー他
SUZUKA CIRCUIT
お問い合わせは
●鈴鹿サーキット/三重営業所☎0593(78)1111
●大阪営業所☎06(372)1526
●東京営業所☎03(3582)3221
●名古屋営業所☎052(571)7176